

傷ついた野生動物を発見したら・・・

やんばる野生生物保護センターには、「ケガをしている鳥を発見した。助けてあげたいがどうしたらよいか？」など傷ついた野生動物を発見した地域住民の方々からの問い合わせの連絡をよくいただきます。

沖縄県が、野生の鳥獣を大切にしようとする意識を高めるとともに、野生動物の保護を目的として実施している傷病野生鳥獣救護事業をご紹介します。

救護の対象となる野生鳥獣

県内に生息する在来の鳥獣および渡り鳥で、自力で野生に復帰できない状態で発見されたものを対象としています。ただし、原則として以下のものを除きます。

- ①所有者のいる鳥獣
- ②ノライヌ、ノラネコ
- ③海棲哺乳類、ネズミ（ドブネズミ、クマネズミ、ハツカネズミ）
- ④外来鳥獣（ドバト、インコ類、台湾シロガシラなど）



野生動物ドクター

傷ついた野生鳥獣を無料で治療する野生動物ドクターを知事が認定しています。

傷ついた野生鳥獣を保護した場合は、野生動物ドクターに電話で受診可能かどうか問い合わせてください。

救護者においては、野生動物ドクターの病院への搬送の協力をお願いしています。

搬送ができない場合はセンターにご連絡ください。

ヤンバル動物診療所（名護市大北） 53-1536

金城動物病院（名護市港） 53-4143

このほか、本部町、今帰仁村にも野生動物ドクターがいます。

イベントのお知らせ

11月22日（土）ネイチャーゲーム体験教室

場所：東村川田地区福地公園

12月13日（土）講演会「なぜハトは首を振って歩くのか（仮題）」

講師 藤田祐樹（沖縄県立博物館 学芸員）

場所：やんばる野生生物保護センター

※詳しくはやんばる野生生物保護センターまでお問い合わせ下さい。

ニュースレターに関するお問い合わせはこちらへ

環境省やんばる野生生物保護センター

〒905-1413 沖縄県国頭郡国頭村比地 263-1 TEL: 0980-50-1025 FAX: 0980-50-1026

※ニュースレターのバックナンバー（旧号）は、やんばる野生生物保護センターで配布しているほか、環境省ホームページでもご覧頂けます。 http://kyushu.env.go.jp/naha/nature/mat/m_2.html

やんばるニュースレター

発行：環境省やんばる野生生物保護センター

No. 6

Yambaru Newsletter

2008年11月
発行

環境省では、やんばる地域の重要な自然環境を適切に保全し、地域の振興も図られるよう、やんばる地域を国立公園とすることを検討しています。ニュースレターでは、その検討状況や、やんばる野生生物保護センターの最近の話題についてご紹介していきます。

やんばる地域の国立公園に関する意見交換会を開催しました

前回のニュースレターでもお知らせしましたように、今年度から、今年3月にとりまとめた「やんばる地域の国立公園に関する基本的な考え方」を指針として、具体的な国立公園の区域や公園計画案の検討を開始していきます。

検討を進めるにあたっては、やんばる地域をいくつかの区域に分け、各区域ごとに順次、そこで生活されている方々の意見をお聞きし、対話を重ねながら進めていくこととしています。

はじめに、奥間川・比地川流域にかかる地域（浜、比地、奥間、辺土名、半地、鏡地、桃原の7区）をモデル地域として検討を進めることとし、9月30日、国頭村観光物産センター会議室にて第1回目の意見交換会を開催しました。

意見交換会には30数名の出席があり、様々な意見が出されました。特に森林施業を中心とする従来の活動や地域振興への影響など、国立公園の開発規制に対する不安の声が多く寄せられました。「基本的な考え方」の中でやんばるの国立公園のイメージとしてまとめている

とおり、「地域の理解を得て、地域とともに運営し、地域振興にも資するような国立公園」を目指していきます

ので、引き続き、皆さまの積極的な参加をお願いいたします。

今後の予定については、あらためてニュースレターでお知らせしたいと思います。



やんばる3村 持続可能な地域づくり応援講座が始まりました

この講座の目指すこと

- ・持続可能な地域づくりに取り組む全国のエキスパートを講師として招き全国の地域づくりの実践的なノウハウを得ていただきます。
- ・3村それぞれの資源（人、自然、文化、くらし、取り組み）について、お互いの理解を深めることを目指します。
- ・やんばるの持続可能な地域づくりの基礎となる、地域のリーダー同士の連携強化を目指します。
- ・次年度以降の3村の協働的な取り組みへの足がかりを作ります。

1. 主催

環境省那覇自然環境事務所、やんばる自然体験活動協議会

2. 実施機関

NPO 法人 持続可能な開発のための教育の10年推進会議 (ESD-J)

NPO 法人 国頭ツーリズム協会 (KUTA)

3. 参加対象

やんばる3村の住民の方々

- ・3村の行政職員
- ・エコツーリズム、グリーンツーリズム、自然体験、宿泊施設などの事業者
- ・地域づくりの核となる若手 など

4. 講座の内容

第1回 10月11日(土) 9:00～12:00 (場所: 大宜味村農村環境改善センター)

「持続可能な〇〇ってなんだろう?～お互いがゆっくりと知り合う～」

講師: ESD-J 理事、琉球大学准教授 大島順子



第1回講座の様子



第2回 11月1日(土) 9:00～12:00 (場所: 国頭村保健センター)

「地域の記憶と資源を見直す～地域の資源とエコミュージアム～」

講師: NPO 法人 環境文化のための対話研究所 代表 嵯峨創平

※第1回、第2回講座は終了しました。



第3回 12月7日(日) 9:00～12:00 (場所: 東村役場大会議室)

「自然環境の保全と地域の活性化～地域住民主体の生態資源管理と地域活性化～」

講師: NPO 法人 黒潮実感センター センター長 神田優 (農学博士)

第4回 1月17日(土) 9:00～12:00 (場所: 国頭村保健センター)

「グリーンツーリズムの今とこれから～都市と農村交流、コミュニティビジネス～」

講師: NPO 法人 えがおつなげて 代表 曾根原久司

第5回 2月14日(土) 9:00～12:00 (場所: 大宜味村農村環境改善センター)

「やんばるの“これから”を描こう～地域の資源と人づくり～」

講師: ESD-J 理事、琉球大学准教授 大島順子

講座の主人公は参加者であるみなさんです。
みなさんと一緒に課題解決に向けた講座をつくっていきます。

参加は無料です。お申し込み・お問い合わせは、国頭ツーリズム協会 (50-1130) までお願いします。

やんばる野生生物保護センターの最近の話題

「輝くやんばるの森 ～森と生き物たちのつながり～」ができました

この度、やんばる野生生物保護センターでは、やんばるの自然をわかりやすく紹介したパンフレットを作成しました。やんばるの希少生物を単に紹介するものではなく、やんばるの山・川・海、そして、そこに育まれる生き物たちのつながりを伝えることに主眼をおき、やんばるの自然がもつ様々な表情を紹介しています。

今後、3村内の学校に通う児童・生徒の皆さんに配布し活用してもらいたいと考えています。3村在住の方々には、やんばる野生生物保護センターにおいて無料で差し上げますので、センター職員にお気軽にお申し付けください。

なお、本パンフレットは、昨年9月に設立された「やんばる国頭の森を守り活かす連絡協議会 (CCY)」の協力を得て作成しました。



取組がすすんでいく中、ぜひ参加してください。